

## データでみる児童虐待とDV

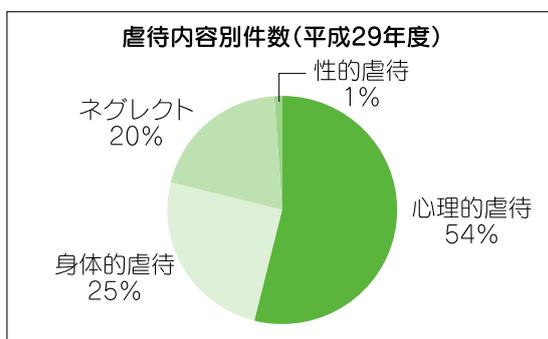
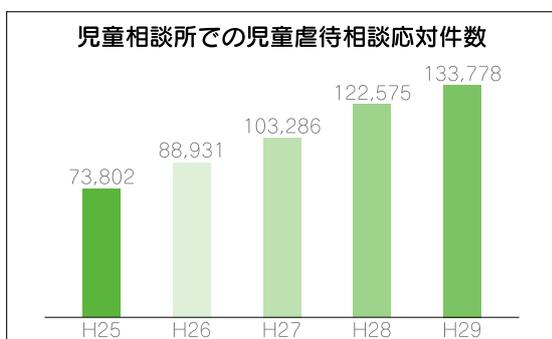
# 家庭という密室で起きる暴力

児童虐待による痛ましい死亡事故の報道が続いています。千葉県野田市での虐待事件では、両親が傷害容疑で逮捕されましたが、母親からのDV被害相談が事件前から自治体に寄せられおり、DVの支配下に置かれた親が、子どもを守ったり、助けを求めることの難しさが指摘されています。

厚生労働省は、児童虐待防止法の改正にむけて、児童相談所とDVの相談機関（配偶者暴力相談支援センター）の連携強化等を検討しています。「家庭という密室で起きる暴力」を根絶するためには、児童虐待とDVの両方の視点を持った支援が必要とされています。

## 面前DVの増加

平成29年度に全国210か所の児童相談所での児童虐待相談対応件数は、133,778件と増加の一途です。



主な増加の要因として、次の2点があります。

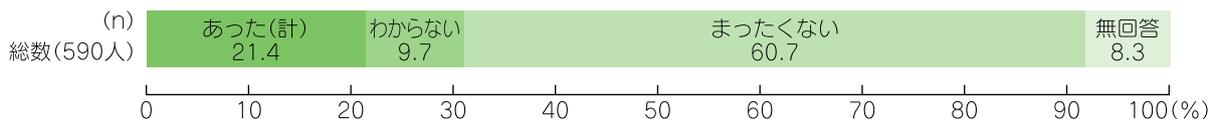
- 心理的虐待に係る相談対応件数の増加(平成28年度:63,186件⇒平成29年度:72,197件)
- 警察等からの通告の増加(平成28年度:54,812件⇒平成29年度:66,055件)

平成28年度と比較して児童虐待相談対応件数が大幅に増加した自治体からの聞き取りでは、心理的虐待が増加した要因として、児童が同居する家庭における配偶者に対する暴力がある事案(面前DV)について、警察からの通告が増加したためと報告されています。(厚生労働省 速報値)

## DV家庭における子どもの被害経験

内閣府の平成29年度「男女間における暴力に関する調査」では、これまでに配偶者から被害を受けたことがあり、子どもがいる人(590人)に、子どもが18歳になるまでの間に配偶者から被害を受けたことがあるかを聞いたところ、「あった」との回答が21.4%となっています。被害経験の内容は、「心理的虐待」が15.1%と最も多く、次いで「身体的虐待」(10.8%)などとなっています。

### 子どもの被害経験の有無



こどもたちの笑顔を守るために

ひとりで悩まないで!気軽にご相談ください。

児童相談所全国共通ダイヤル TEL189